

インターツム 2005 - ケルン国際家具産業・木工加工見本市

2005年4月29日(金)～5月3日(火)

ドイツ連邦共和国 ケルン・メッセ会場

- ファイナル・レポート -

- インターツム2005:新コンセプトも好評
- 世界のトップメッセ、そしてイノベーション・プラットホームとしての役割を確立

総体的に良い成果を残し、5月3日(火)、ケルン・インターツム2005が閉幕しました。世界63カ国から出展参加した約1300社の大多数が新製品に対する関心の高さを評価し、また卓越した国際性とトップレベルとも言うべき専門バイヤーの質の高さに嬉しい喜びを見せていました。一般的な経済状況や景気の低迷に反し、次のような意見も多く見られます。「ケルンは依然として国際ビジネスの見本市の場です。私たちの期待は全て叶えられました。インターツムは世界中から訪れる我々の顧客が一堂に会すプラットホームそのものであり、これからもそう在り続けるでしょう」と、シャットデコール株式会社のライナー・シユルツ取締役副会長は述べています。また、ユリウス・ブルーム社のフーベルト・シュバルツ部長は、「ブルーム社にとってインターツムとは、新製品を国際的な専門バイヤーに効果的にアピールすることの出来る世界のトップメッセであり、これからもその重要性は変わることはないでしょう。非常に重要なこの家具産業見本市において、我々は従来の顧客とのコンタクトを深め、さらに新規開拓をすることが出来るのです」と話しています。

これらの評価は、インターツムが厳しい状況下にありながらも世界のトップを誇る専門見本市であることを証明しています。その理由の一つとして、見本市の新コンセプトがあげられます。「この新しいコンセプトによって私たちは重要な一歩を踏み出し、さらにインターツム2007の良い基盤を作ることが出来ました。自信と活力に満ちた業界の状況は、この新しい枠組みの中で生まれたのです」とケルン・メッセのヴォルフガング・クランツ副社長は報告しています。また、この新コンセプトは来場者からも好評でした。カール・フィアハウス社のカール・フィアハウス社長は今回の見本市を次のように評価しています。「インターツムはまさに成功でした。会場設備や出展品目も当を得ていました。収納家具に重点を置く地方の展示会と比較すると、インターツムは総合的な眺望を提供するグローバルな見本市です。是非またインターツムに足を運びたいと思います。」

出展企業は、インターツムの経過と来場者の反響に大変満足しています。今年のインターツムでは「モバイル・ファニチャー・ワールド」のデザインなど新たな分野に焦点を合わせることで、自動車業界からの来場者数増加を記録することが出来ました。アウディからフォルクス・ワーゲンに至るまでの全ての企業から、専門家たちがトレンドとイノベーションを求めて来場しています。とりわけ多かったのが商品調達の決定権を持つビジターの割合です。これは会期中に実施されたアンケート調査でも証明されています。ビジターの80%以上が自ら調達の決定下している、またはそれに関与していると回答しています。

外国からの出展参加が全体の73%を占めており、インターツムはヨーロッパ、近東、極東、アメリカの市場を描写しているといえます。また見本市の国際性は外国人ビジターの関心の高さにも反映しています。これをヘーティッヒ・インターナショナル社、マーケティング・販売部のベルント・リーヒャー部長は次のように述べています。「私たちの内部分析によりますと、ビジターの約75%が外国から訪れており、その中には海外の成長市場からの非常に興味深いコンタクトもありました。」全体としては、ヨーロッパ圏外からの来場者数は前回の2003年より増加しています。とりわけ激しい増加が見られたのは、南北アメリカ、東南アジア、東ヨーロッパでした。この結果は、各地で開催されたインターツムのサテライトメッセが功を奏し、インターツム・ケルンの支えの一つとなったことを裏付けています。

外国人ビジターの高い比率と良い成果に対し、ドイツ国内からの来場者数は減少しています。ある出展者の意見によると、これは実際の市況ではなく市場のムードをより反映しています。「この結果から、今回参加しなかったドイツ家具メーカーは、業界他社の関係を傍観し、イノベーションや製品改良を究明し、分野全体の意見交換の機会を十分に利用することが出来なかったと言えます。ドイツ家具産業は、将来的にこの獲得戦をチャンピオンリーグで闘うか地方リーグで争うか決定しなければなりません。」ケルン・メッセのヴォルフガング・クランツ副社長はこのように述べています。

全体で、132カ国から4万9千人以上のビジターがインターツム2005を訪れています。(2003年:5万4千人)外国人比率は明らかに増加し、70%以上に上っています。

コミュニケーションの中心地点:ピアツツァとフォーラム

インターツムの新概念の中で基本的な構成要素であったのが、会場中心のコミュニケーション広場、ピアツツァとフォーラムです。これらは知識や情報交換のための十分な機会を提供し、分野を超えた刺激を生み出しました。インターツムフォーラムで開催された大半の人気スピーチ(一部参加者150人程度)では、各分野の専門家たちが現在の業界問題について討論しました。これらの専門的な対談や様々な付加価値レベル及び専門分野の意見交換を通し、全てのレベルにおけるイノベーションへの刺激が生まれました。包括的な分野概念のおかげで、インターツムは他とは取り違えようのない特色を持ち、特有の推進力を生み出し、これによってビジターに真の付加価値とイノベーションとの完璧な接点、そしてその将来性を提示しました。

インターツム賞における進歩的イノベーション

今年もまたインターツム賞「革新素材とデザイン」において、傑出したイノベーションの数々が世界中から訪れた出展者、ビジター、ジャーナリストに紹介されました。今回で3度目となるレッド・ドット社の協賛を受け、ケルン・メッセが公募したイノベーション・コンテストでは、関連業界のインパクトが印象深く発表されました。その中から合わせて24の製品が最高審査委員会に選出され、表彰されました。

インターツム・トレンド

- デザイン性は関連分野でもますます重要性が高まり、技術的イノベーションと外観的機能と共に発展。
- スタイリッシュな金具類は、家具に使用する際の使いやすさと配置換えの時の移動性が向上。
- 完璧に調整された引き出しシステムは、より広い空間や利便性の向上、操作の簡易化を実現。
- ドアクローザーのシステムはスライド蝶番や、食器棚の扉にも用いられる。ドアの騒音はもはや過去の産物。
- 装飾は内容豊富で納得の品揃え。古い床材のようなアンティーク素材がトレンド。
- 化粧板分野での多様性は減少。エキゾチックな種類の木材がますます家具メーカーで取り入れられ、個性的な趣向の流れに沿う。立体的でしなやかな単板も改良され、収納家具製作においてこれまでにないオーガニック・デザインへのアプローチを実現。
- ラミネート材はさらに施工が容易に。「ハンマーとねじ」から「はめ込み、貼り付け」へ。
- 抗菌作業台が考案される。これはキッチンのみならず公衆や医療の場においても菌の発生を防止。
- マットレスカバーでは通気性がよく、それでいて汚れを防ぐ繊維を多用。水だけでシミを落とすことができる。大半のマットレスカバーが取り外しでき、洗濯も可能。
- 省エネ・省資源機器は、国際取引を行う関連産業にはさらに重要となる標準要件。

最新画像及びインターツムの詳細、ハイライト、イノベーション、トレンドを要約したインターツム・ヒットガイドはウェブサイト www.interzum.de よりダウンロードできます。

インターツム2007は2007年5月11日から15日に開催予定です。

ケルン・メッセに関するお問い合わせは下記までどうぞ。

ケルン・メッセ日本事務所

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 5-13-1 虎ノ門 40MT ビル 9F

TEL: 03-5405-2202 FAX: 03-5405-2203

e-mail: kmjpn@koelnmesse.jp URL: www.koelnmesse.jp